

「2016年中学入試の大変化！」

未来の男子校・女子校・共学校モデル現る！」

主催：21会（21世紀型教育を創る会） <http://21kai.com/>



21会校（五十音順）

- かえつ有明中・高等学校
- 共立女子中学高等学校
- 工学院大学附属中学校・高等学校
- 佼成学園女子中学高等学校
- 桜丘中学・高等学校
- 順天中学校・順天高等学校
- 聖徳学園中学・高等学校
- 聖学院中学・高等学校
- 聖パウロ学園高等学校
- 東京女子学園中学校高等学校
- 富士見丘中学校高等学校
- 文化学園大学杉並中学・高等学校
- 三田国際学園中学校・高等学校
- 八雲学園中学校・高等学校

日付	2016年2月21日（日）	場所	聖学院	時間	14：00～ 受付開始 13：30	対象	保護者・教育関係者 受験生 定員：200名
----	---------------	----	-----	----	----------------------	----	--------------------------

2016年、中学入試は大きく変わりました。2020年大学入試改革問題がきっかけとなり、グローバル教育や21世紀型教育が前面に登場してきました。そしてそれは、中学入試にも大きな影響を与え、帰国生入試の盛り上がり、英語入試の急増、思考力型テストや適性検査型入試の激増をもたらしたのです。

2020年大学入試改革は、本気で、「一点刻みで」知識量の多寡や知識を引き出すスピードを競うテストから「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を評価する「新テスト」開発に挑んでいます。

この「新テスト」にマッチングすべく学習指導要領も大改訂となり、「アクティブラーニング」も大きな話題を呼んでいます。しかし、大変革であればあるほど、みなさまのお子様に必要なこれからの学力、教育、そして教師の役割はどのようなのか、不安もいっぱいでしょう。すでに、21会校は、その不安を払拭し、子どもたちが、自信と希望をもって、未来に挑める「4技能の英語力×本物アクティブラーニング×思考力×ICT教育×グローバル進路指導」の学習システムを創発しました。

2017年中学受験生にとって、最高の教育環境にチャレンジしているモデル校の最新情報をご提供いたします。

「4技能英語×本物アクティブラーニング×思考力×ICT教育×グローバル進路指導」

教育講演（敬称略） 総合司会 本間勇人（21会事務局）

- ①14:00～14:45 「激動の2016年中学入試から2017年を見通す」
北一成（首都圏模試センター 取締役 教育情報部長）
- ②14:50～15:20 「2020年を想定する合科型論述テストの手ごたえ」
児島博之（共立女子校長）×金井圭太郎（共立女子広報部副主任）
- ③15:25～16:25 パネルディスカッション
「2020年大学入試を突破する新女子校モデル」

コーディネーター：山下一（首都圏模試センター取締役統括マネージャー）

パネリスト：大島規男（富士見丘教育参与・SGH推進リーダー）

辰巳順子（東京女子学園校長補佐）

菅原久平（八雲学園高等部部長）

窪田 淳（文化学園大学杉並英語科主任）

- ④16:30～16:50 「これからの男子校のカタチ」

清水広幸（聖学院副校長）

- ⑤16:50～17:10 「21世紀型教育の根っこ」 石川一郎（かえつ有明校長）

聖学院中学校・高等学校
〒114-8502 東京都北区中里3-12-1

J R駒込駅からのアクセス

